

奮闘の日々
20代のフレッシュパーソン

[398]

やの・ひろき

終業 制作部 矢野 弘樹さん

終活ワンストップ支援サービスの終業(本社春日井市白山町1の61の6)で自社サイトのページ制作に携わる矢野弘樹さん(27)は入社3年目。同社の顧客獲得はサイト経由が大半で、矢野さんらウェブページ制作者の手腕が業績に直結する。日々重責を果たしているが、「新しいサービス・ビジネス立ち上げの頻度が高い当社では、集客効率の高い情報提供の在り方がノウハウとしてなかなか確立せず、今後の課題」と、経営者的な視点から自分の仕事を評価し、決して満足していない。



手掛けたページを示す矢野さん

学生時代はウェブデザインを学んだが、入社した大手IT企業で配属されたのはリスティング広告の管理・運用などのマーケティング部門。「縦割り組織で、デザイン部門とは連携も情報共有も難しかった」と得意分野を封じられた格好。先に終業に移っていた

先輩に誘われ転職した。

マーケティング関連は今も守備範囲だが、ページのデザインや時にはテキスト作成も手掛け、仕事は一挙にクリエイティブになった。「自分の『仕事』を見たお客さんから問い合わせが入ると本当にうれしい。当社では1件電話が入るのにいくらかかったかをデータ化しており、ページの費用対効果が一目で分かる。責任は重いが、やりがいがある」と話す。

ページ制作で心掛けているのは、終活関連だからこそ心が沈まないデザイン。「社長(伊藤俊吾氏)の方針でもあるが、パステルカラーや葬式カラー(白、黒、灰)は避けている。高齢者には見にくいし、わくわく感も生まない。鮮やかで明るい色遣いで情報を伝え、なおかつ『余白の美』も追求する。難しいが挑みがいがある」と意欲は高い。